

第2章 後期計画期間の重点戦略

後期計画期間の重点戦略については、9つの分野に掲げられた市長マニフェストを中心に施策を進めてきました。

1. 教育の分野 ～子どもから大人まで輝きを引き出す～

教育の分野では、子どもから大人まで輝きを引き出すことを目標に、学校においては、コミュニティ・スクール事業により「地域とともにある学校づくり」を進めるとともに、タブレット導入によるICT教育の推進などに取り組みました。また、統合型地域スポーツクラブの設立やKTXアリーナ（江南市スポーツセンター）の建設、文化財保護への支援を図り、スポーツ推進や郷土の歴史保護にも注力し、世代を越えて交流・学習できる環境づくりに取り組みました。

〔具体的な取り組み内容〕

事業名	実施年度(H)	内容
コミュニティ・スクール事業	27・28・29	順次、学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクール事業を推進
教材整備事業	29	全ての小学校にタブレットを導入し、ICT化を推進
体育振興事業	29	統合型地域スポーツクラブの設立
新体育館建設事業	26・27・28・29	KTXアリーナ（江南市スポーツセンター）の建設
国指定文化財「曼陀羅寺正堂」保存修理補助事業	28・29	「曼陀羅寺正堂」の屋根葺替等修理工事への補助

2. 高齢者の分野 ～みんなで助け合う安心な江南(まち)づくり～

高齢者の分野では、みんなで助け合う安心なまちづくりを目標に、公共交通のあり方を検討し、基本的な考え方をとりまとめるとともに、生活支援コーディネーターの配置により、サロン等の立ち上げ、地域の支え合い体制づくりを支援し、介護予防支援策を強化しました。また、独り身の高齢者の方々も安心して生活が送れるよう、見守り協定事業者の拡大、緊急通報装置の設置推進などに取り組みました。

〔具体的な取り組み内容〕

事業名	実施年度(H)	内容
公共交通再編事業	28・29	「地域公共交通の基本的な考え方」を編纂
地域支援事業	29	生活支援コーディネーターを各日常生活圏域に配置（サロン等の立ち上げや地域の支え合い体制づくりを支援）
高齢者見守り事業	26・27・28・29	緊急通報装置の設置推進 見守り協力協定事業者の拡大、連携強化

3. 子育ての分野 ～住みたくなる子育て先進市に～

子育ての分野では、住みたくなる子育て先進市を目標に、乳児から児童・生徒まで、幅広く多様なニーズに応えるため、第3子育て支援センターの開所や、低年齢児受入拡大や保育環境の充実を図るための保育施設の改修、子ども医療費無料化の拡大を図ってきました。また、学童保育所や放課後子ども教室の増設により、受入れ対象学年を拡大し、子どもたちの活動の場を確保するとともに、子育て世代の就労支援に取り組みました。

〔具体的な取り組み内容〕

事業名	実施年度(H)	内容
保育園空調設備改修事業	26・27・28・29	順次、空調設備を改修(布袋保、古西保、布袋西保)
低年齢児受入拡大対策事業	27	低年齢児受入拡大のための保育室の改修及び職員研修等の実施(布袋北保)
第3子育て支援センター運営事業	26・27・28・29	H27年1月から第3子育て支援センターを開所
放課後児童健全育成事業	27・28・29	宮田・門弟山・古東・古南・布袋学童保育所を建設し、全小学校区で受入れ対象学年を4年生まで拡大
学童保育所整備事業	26・27・28	
放課後子どもプラン事業	27・28・29	順次、放課後子ども教室の実施校を拡大
子ども医療費助成事業	28・29	子ども医療費の無料化を中学3年生まで拡大

4. 健康の分野 ～10万人の健康づくりで江南(まち)を元気に！～

健康の分野では、10万人の健康づくりを目標に、がん検診や節目年齢歯科健診などの各種健康診査等の啓発・周知を図り、受診率向上に取り組むとともに、自発的な健康づくりを促すような健康マイレージ事業や、後期高齢者人間ドック助成事業を開始しました。また、データヘルス計画を策定し、疾病の傾向をお知らせするとともに、健(検)診の受診勧奨をすることにより、市民の健康づくりを促進しました。

〔具体的な取り組み内容〕

事業名	実施年度(H)	内容
健康管理事業	26・27・28・29	各種健(検)診の啓発活動による受診率の向上
健康推進事業	27・28・29	こうなん健康マイレージ事業の開始
後期高齢者人間ドック助成事業	28・29	後期高齢者の人間ドック、脳検査の費用の一部を助成
データヘルス推進事業	28・29	データヘルス計画に基づく案内通知による疾病予防の啓発

5. 暮らしの分野 ～市民の暮らし第一で江南(まち)はもっとよくなる～

暮らしの分野では、市民の暮らし第一のまちづくりを目標に、道路照明灯のLED化や生活困窮者への自立支援、雨水貯留施設の設置による浸水被害の軽減に取り組み、市民の安心・安全の向上を図りました。また、布袋駅付近の鉄道高架化事業を推進し、平成29年度には名古屋方面の本線高架化を完了し、新駅舎にエスカレーターを設置するとともに、駅東地区に市の南玄関口としてふさわしい賑わい拠点を創出するため、複合公共施設の整備に着手しました。他にも、空家等対策計画を策定し、市内の空き家対策の検討を始め、暮らしの賑わいづくりや秩序あるまちなみの形成を推進しました。

〔具体的な取り組み内容〕

事業名	実施年度(H)	内容
交通安全施設管理事業	28	道路照明灯を水銀灯等からLED灯に更新
生活困窮者自立相談支援事業	27・28・29	生活保護に至る前の自立支援策を強化
布袋駅付近鉄道高架化整備事業	26・27・28・29	名古屋方面の本線高架化に伴い、新駅舎にエスカレーターを設置
布袋駅東複合公共施設整備事業	28・29	新たな賑わい拠点の創出として、複合公共施設の整備に着手
空家等対策推進事業	28・29	連絡会議、協議会の設置と空家等対策計画を策定
雨水貯留施設整備事業	26	北部中学校に雨水貯留施設を設置

6. 危機管理の分野 ～想定外とは言わせない、災害に強いひとづくり江南(まち)づくり～

危機管理の分野では、災害に強いひとづくり・まちづくりを目標に、地域防災計画を見直すとともに業務継続計画を策定し、発災時の行動計画を明確にしました。また、愛知江南短期大学を乳児避難所として指定し、市民に周知を図りました。自然災害への備え以外にも、AED(自動体外式除細動器)を広く市内に配置するとともに、女性消防団員の採用や老朽化した防火水槽の簡易耐震化による水利の確保、消防通信指令事務の共同運用に向けた消防指令センターの整備等に取り組みました。

〔具体的な取り組み内容〕

事業名	実施年度(H)	内容
地域防災計画策定事業	27	南海トラフの巨大地震を見据えた地域防災計画の見直し
業務継続計画策定事業	28・29	発災時の行政機能の中断をなくすため、BCP(業務継続計画)を策定
乳児避難所資機材整備事業	27	愛知江南短期大学を乳児避難所として指定し、必要な資機材を整備
AED設置事業	27	AEDの増設(保育園等に新規設置、交番に貸出)
消防団充実強化事業	27・28・29	女性消防団員による啓発活動等を実施
防火水槽震災対応化事業	27・28・29	老朽化防火水槽の簡易耐震化を推進
消防救急無線デジタル化等に伴う施設等整備事業	27	消防通信指令事務の共同運用開始に向けた施設・機器整備等の実施

7. 経済の分野 ～企業誘致と地域ブランド戦略の推進～

経済の分野では、企業誘致と地域ブランド戦略の推進を目標に、商工業については、企業誘致や市内企業の定着を促進させるための支援策を展開することに重点を置き、農業については、新規就農者支援や耕作放棄地の解消について、重点的に取り組みました。また、ふるさと寄附事業やシティプロモーション事業を実施し、歳入確保及びふるさと意識の高揚を図るとともに、「暮らしが花ひらく生活都市。江南市」を都市ブランドとして市内外にPRを図りました。

〔具体的な取り組み内容〕

事業名	実施年度(H)	内容
企業誘致等推進事業	27・28・29	企業誘致等基本方針を策定し、企業誘致や既存企業の定着を促進
新規就農・経営継承総合支援事業	26・27・28・29	新規就農者に対する補助金の交付
ふるさと寄附事業	26・27・28・29	ふるさと寄附金制度の運用開始
シティプロモーション事業	28	シティプロモーションビジョンを策定し、PR動画の制作やテレビコマーシャル等でシティプロモーションを実施

8. 環境の分野 ～環境循環都市の実現～

環境の分野では、環境循環都市の実現を目標に、住宅用地球温暖化対策設備設置補助金の補助対象設備として、既存の太陽光発電設備に、新たに家庭用エネルギー管理システムや定置用リチウムイオン蓄電システムを加え、地球温暖化防止を促進しました。また、常設のリサイクルステーションの開設や、新ごみ処理施設の建設に向けた地権者同意の取得及び尾張北部環境組合の設立、公共下水道事業の推進により、循環型社会の形成や意識啓発に取り組みました。

〔具体的な取り組み内容〕

事業名	実施年度(H)	内容
温暖化防止事業	28・29	住宅用地球温暖化対策設備設置補助金の対象に、HEMS(家庭用エネルギー管理システム)等を追加
リサイクルステーション運営事業	29	環境事業センター内にリサイクルステーションを開設
地域対策事業	26・27・28	新ごみ処理施設建設に向けて、地権者同意を得るため、説明会やごみ処理施設見学会等を実施
尾張北部環境組合関係事業	29	2市2町(犬山市・江南市・大口町・扶桑町)で構成する尾張北部環境組合を設立
公共下水道事業	26・27・28・29	下水道整備事業の推進と下水道普及率の向上

9. 改革の推進

改革のさらなる推進として、タウンミーティングによる市民と市長の対話の実現や、市民参加により事務事業の見直しを行う行政事業レビューの開催など、行政への市民参加の機会拡大を図りました。また、地方公会計の推進として、財務書類4表の統一基準へのモデル変更を行ったほか、公共施設やインフラのマネジメント推進のために、現況調査の実施や総合管理計画、再配置計画を策定しました。

なお、江南市戦略計画の次期計画として、人口減少社会を前提とし、「市長の戦略政策」と「市民協働」を特徴とした、第6次江南市総合計画を策定しました。

〔具体的な取り組み内容〕

事業名	実施年度(H)	内容
広聴事業	27・28・29	タウンミーティングを毎年開催
第6次総合計画策定事業	27・28・29	地方創生、人口減少社会を前提とし、「市長の戦略政策」と「市民協働」を特徴とした総合計画を策定
公共施設等総合管理計画策定事業	27	公共施設等の管理に関する基本的な方針を、総合管理計画として定めるとともに、公共施設に関しては最適な配置を実現できるよう、再配置計画を策定
公共施設再配置計画策定事業	28・29	
行政事業レビュー事業	28・29	市民参加による事務事業の見直しを実施
地方公会計推進事業	27・28・29	固定資産台帳の作成・更新と、国の示す統一基準による財務書類4表の作成

